

# 令和5年住宅・土地統計調査結果（富山県分）

## 調査の概要

### (1) 調査の目的

住宅及び住宅以外で人が居住する建物に関する実態並びに現住居以外の住宅及び土地の保有状況その他の住宅等に居住している世帯に関する実態を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにすることにより、住生活関連施策の基礎資料を得ることを目的として、昭和23年以来5年ごとに実施されており、今回はその16回目に当たる。

### (2) 調査期日

令和5年10月1日現在

### (3) 調査対象

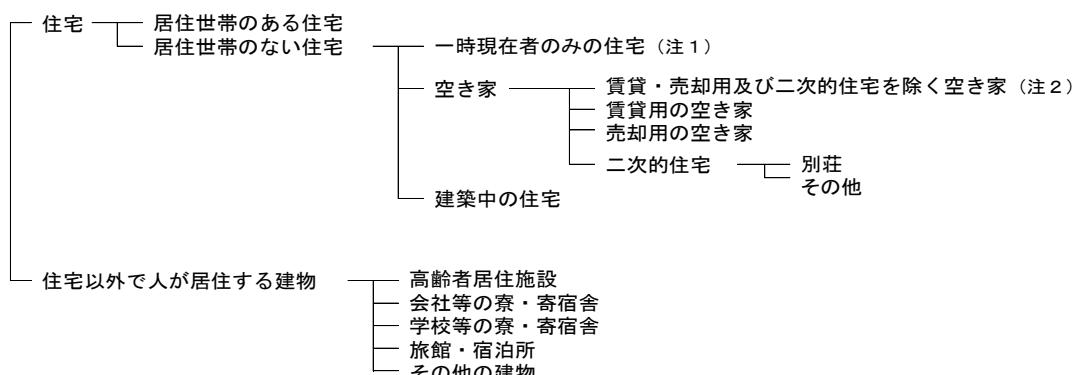
県内約2万8千住戸・世帯（全国約340万住戸・世帯）

## 利用上の注意

- (1) 第2章から第6章までは、調査票甲、調査票乙及び建物調査票を用いて集計した結果であるが、第7章は、調査票乙及び建物調査票を用いた集計結果であり、集計の対象範囲等が異なる。
- (2) 本文及び図表の数値は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。
- (3) 本文及び図表の数値は、総数に「不詳」の数を含むことから、総数と内訳の合計は必ずしも一致しない。

### 住宅・土地統計調査における「住宅」、「世帯」の分類

#### 《住宅》



（注1）昼間だけ使用している、何人かの人が交代で寝泊まりしているなど、そこにふだん居住している者が一人もいない住宅

（注2）賃貸用の空き家、売却用の空き家及び二次的住宅以外の人が住んでいない住宅で、例えば、転勤・入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅など（空き家の種類の判断が困難な住宅を含む）

#### 《世帯》

##### 主世帯、同居世帯

1住宅に1世帯が住んでいる場合はその世帯を「主世帯」とし、1住宅に2世帯以上住んでいる場合には、そのうちの主な世帯（家の持ち主や借り主の世帯など）を「主世帯」とし、他の世帯を「同居世帯」とした。

なお、単身者が友人と共同でアパートの1室を借りて住んでいる場合など、1住宅に二人以上の単身者が住んでいる場合は、便宜、そのうちの一人を「主世帯」とし、他の人は一人一人を「同居世帯」とした。

## 1 主な指標

項目	令和5年		平成30年(前回)		全国		
	富山県		全国	富山県			
	数値	順位		数値	順位		
住宅関係	総住宅数	473,900 戸	-	65,046,700	452,600 戸 -	62,407,400	
	空き家率 ※1	14.7 %	17	13.8	13.3 %	12	13.6
	一戸建率	74.0 %	7	52.7	77.1 %	3	53.6
	持ち家住宅率	74.9 %	3	60.9	76.8 %	2	61.2
	1住宅当たり住宅延べ面積(専用住宅)	138.77 m <sup>2</sup>	1	90.86	143.57 m <sup>2</sup>	1	92.06
	1住宅当たり居住室の畳数(専用住宅) ※2	44.89 畳	1	32.49	45.86 畳	1	32.74
	1人当たり居住室の畳数(専用住宅)	18.17 畳	2	14.65	17.42 畳	2	14.06
	住宅所有率(注)	70.9 %	4	57.7	72.8 %	2	58.1
	現住居以外の住宅所有率(注)	7.2 %	22	6.1	7.2 %	28	6.7
土地関係	1住宅当たり敷地面積(一戸建及び長屋建)	360.84 m <sup>2</sup>	6	261.01	348.74 m <sup>2</sup>	7	251.76
	土地所有率(注)	65.7 %	4	48.6	67.4 %	2	49.8
	現住居の敷地所有率(注)	63.9 %	4	47.1	65.7 %	2	48.1
	現住居の敷地以外の土地所有率(注)	19.7 %	17	11.8	21.5 %	15	13.1

※1 空き家率の順位: 空き家率が低いほうからの順位

※2 居住室: 居間、茶の間、寝室など居住用の室(玄関、台所、トイレなどを含めない)

(注) 調査票乙及び建物調査票を用いて集計した結果(その他の結果は、調査票甲、調査票乙及び建物調査票を用いて集計しており、集計の対象範囲等が異なる)